

青森県三八地域

神

社

探

訪

Let's Go JINJA

今!! 神社がおもしろい

探究<sup>編</sup>



やおよろず

八百万といわれるほど、たくさんの神さま。

鎮守の森に囲まれた神社にたたずむと、

美しい自然に心も和みます。

物や情報があふれ、せわしない日常の中で、

時には自分の心を見つめ、

静かに手を合わせたくなくなるときがあります。

そんな気持ちを大切に、

身近に神さまを感じてみませんか。

何かを決意したとき、嬉しい知らせがあったとき、

落ち込んだとき、思い上がっているとき…

本当の自分を見つめる時間は、

見落としていた心に気づく大切なひととき。

今、生かされていることに感謝して、

正直な自分の心に気づく大切な祈りの場。

目には見えないけど大切なものを感じるころ。

青森県神社庁三八支部は、八戸市・三戸郡(六町村)から成り立っています。  
神社本庁包括下のお社が、当支部内には100社あります。より多くの人たちにご参拝いただければとの思いでこの冊子を作製しました。

私たち日本人は四季折々の豊かな自然の恵みの中で生きてきました。そしてあらゆるものに「神さま」が宿っていると考え、手を合わせ、あがめてきました。近くの鎮守のお社に足を運んでみてください。

きっと心が安らぎ清らかな気持ちになることでしょう。

## 神社にまつられている神さまはどんな神さまですか。

日本では昔からたくさんの神さまをあがめてきました。山の神さまや海の神さま、食物の神さまなど、さまざまな神さまがおられます。とても多くの神々という意味で八百万神<sup>やおよぼすのかみ</sup>というほどです。また、国や社会のために大きな功績のあった祖先も神さまとしてまつられることもあります。



## 氏神さま、鎮守さまってなんですか。

氏神さまは昔は一族の祖先の神さまのことでした。しかし、今日では地域の守り神で住まいの近くにある神社のことを氏神さまとといいます。産土神<sup>うぶすながみ</sup>というのも同じ意味です。そして、その土地に住んでいる人のことを氏子とといいます。また、いつも氏子や氏子の住んでいる土地を見守ってくださる神さまという意味で鎮守さまともよばれるのです。



# 参拝の手順・手水の手順

## 参道の歩き方

神社では参道の中央は神さまが通る道ととらえ、中央を避けて進むのは敬意の表れといえます。また、参道の中央を横切る際に、軽く頭を下げながら通るといふ敬意の表し方もあります。

## 鳥居のくぐり方

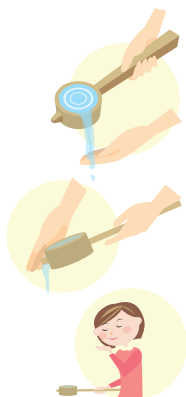
神社の鳥居には、一般社会と神域を区切る結界のような意味があるといわれ、一礼してからくぐるのが丁寧なくぐり方とされます。また、参拝を終え、境内を出る際も社殿の方に向き直り一礼するとよいでしょう。

## 手水

手水は心身を清める「<sup>みそ</sup>禊ぎ」などを簡略化したものといわれています。一般的には次のような作法で行います。

### 手水の作法

- 1 まず、右手で柄杓を持ち、水を汲み、左手にかけて清めます。
- 2 次に、左手に柄杓を持ち直し、右手にかけて清めます。
- 3 あらためて右手に柄杓を持ちなおし、左手に水をため、その水で口をすすぎます。最後に口をすすいだ左手を清めます。柄杓に直接口をつけてはいけません。



## お賽銭と鈴

神社では神さまへの感謝や真心の表れとして、お賽銭をお供えしてお参りをします。また、お賽銭箱の上の方に鈴の緒が掛かっている場合は鈴を鳴らしてお参りします。

お賽銭と鈴のどちらが先かにはきまりはありません。むしろその後には身と心を一層ただしてお参りをするのが大切です。

## 拝礼

一般的に神社や神棚では二拝二拍手一拝（二度深いお辞儀をする→二回手を打つ→もう一度深いお辞儀をする）の作法にて拝礼します。

願い事は欲張らず、日頃の感謝を忘れずにお参りすることが大切です。



## 神棚のまつり方

### 神棚に適した場所

- ◆ 家族の集まる、明るく清らかなところ
- ◆ 南向き、または東向きの目線より高い位置
- ◆ 家族の皆さんが拝みやすいところ

全ての条件を満たしていることが望ましいのですが、むずかしい場合は、より望ましいと思う場所を選んでください。



## お神札のまつり方

神棚には大きくわけて二種類あります。三体並べておまつりできる「三社造り」、重ねておまつりする「一社造り」です。それぞれ、次のようにおまつりします。

### 三社造り

中央…神宮大麻 (伊勢の神宮のお神札)  
 右…氏神さまのお神札  
 左…崇敬する神社のお神札



### 一社造り

手前…神宮大麻 (伊勢の神宮のお神札)  
 間…氏神さまのお神札  
 奥…崇敬する神社のお神札



年末には神棚の清掃を行い、新しいお神札をおまつりします。古いお神札は一年間の感謝を込めて神社におさめましょう。

## 神棚とマンション

「神棚を設けるスペースがない」「家の雰囲気に合わない」などの理由でお神札をおまつりするのをためらっていませんか？そんな場合は、タンスや本棚などの上に白い紙を敷き、そこにお神札をおまつりしても大丈夫です。大切なのは、神さまを敬い真心をこめておまつりすることです。

青森県神社庁三八支部






# 全体マップ

朱印

御朱印のマークが付いている神社では朱印がうけられます。朱印帳を用意して巡ってください。  
※神職が不在の時もありますので、あらかじめお問い合わせください。





	八戸市沿岸部・階上町 .....	8～17ページ
	八戸市内陸部(南郷を含む) .....	18～28ページ
	南部町 .....	30～38ページ
	三戸町・田子町 .....	40～47ページ
	五戸町・新郷村 .....	48～53ページ

# 八戸市沿岸部・階上町マップ



至 青森・函館

おいらせ町

10 白髭神社 ▶ P.14

下田百石IC

下田

八戸湾  
八戸川

陸奥市川

八戸北IC

01 小田八幡宮 ▶ P.10

02 御前神社 ▶ P.10

11 八坂神社 ▶ P.14

12 別雷神社 ▶ P.15

八戸駅

07 大久保天満宮 ▶ P.13

08 四本松神社 ▶ P.13

北高岩

吾米地

104

八戸JCT

刺吉

南部町

八戸川  
八戸湾

至 盛岡・東京

東北新幹線

南郷IC

● 本務社 神職が普段常駐している神社。

○ 兼務社 他に本務社を持った神職が兼任している神社。



## ① 小田八幡宮 (こだはちまんぐう)

義経北行伝説の残る八戸北方の鎮守さま。



自衛隊駐屯地の近く、小田坂の麓に鎮まる、神池と社に囲まれた古来の神社らしい姿が残る社です。起源は平安末期までさかのぼり、境内には義経伝説にまつわる勝負事の神様「毘沙門天」や商売繁盛の「大黒天」、子授けや子どもの成長をお守りくださる「子安堂」などの末社もあり、地域の人々の崇敬と憩いの場となっています。

- 祭神  
菅田別命(ほんだわけのみこと)
- 年間行事  
厄除祭(2月4日～2月末日)  
夏越の茅の輪くぐり(6月30日)  
例祭(9月第2土・日曜日)  
七五三祭(10月1日～11月末日)



〒039-1160 八戸市小田一丁目2-1 TEL.0178-28-3007

## ② 御前神社 (みさきじんじゃ)

公園に隣接し朱色の大鳥居が迎える安産成就のお社。



古くから海上安全・漁業の神として崇敬を集めてきたことを船魂神の碑が語ります。県内最大級の大絵馬。下町の玉三郎こと梅沢富美男氏の願いの込められた玉梅。和歌(学問)、そして安産の神として、さらには災を祓う厄祓、武運の神としても御利益のある御前神社。太平洋に向かって凜としてそびえる朱色の鮮やかな大鳥居が参拝者を迎えます。

- 祭神  
住吉大神(すみよしのおおかみ)  
神功皇后(じんぐうこうごう)  
武内宿禰(たけしのうちのすくね)
- 年間行事  
お浜入り(5月14日)  
例祭(5月15日)  
夏祭り・盆踊り(8月第1土曜日または第2土曜日)  
十五夜の竹あそび(旧8月15日)



〒031-0802 八戸市小中野八丁目1-19 TEL.0178-24-3393  
http://misaki-jinja.com

## ③ 川口神社 (かわぐちじんじゃ)

第二魚市場の対岸、祭典日には大漁旗がはためく。



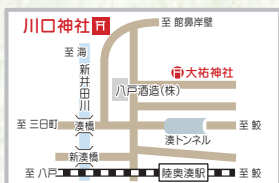
岩手県北を源流とする新井田川が太平洋に流れ込む、その河口の岩盤に鎮座するのが川口神社です。昔から大漁祈願、海上安全を願う漁民から篤い信仰を集めています。祭典日は大漁旗がヤマセに靡きます。江戸時代には十分一役所(漁獲高の1/10を納める役所)が近くにあり、漁船の行き交う音を耳にしながら参拝すれば、歴史散歩を楽しむこともできます。

### ●祭神

速瀬織津比売神(はやせおりつひめのかみ)  
速秋津比子神(はやあきつひこのかみ)  
速秋津比売神(はやあきつひめのかみ)  
大綿津見神(おおわたつみのかみ)  
豊受比売神(とよけひめのかみ)

### ●年間行事

例祭(6月27日)  
歳越祭(11月27日)



〒031-0812 八戸市湊町字下条30 【問い合わせ先】御前神社 TEL.0178-24-3393

## ④ 大祐神社 (だいすけじんじゃ)

鮭にまつわる伝説を有する漁業の神さま。



湊地区の氏神である当社は、新井田川を見渡せる湊館鼻の地にあります。犬丸舟の伝説や千漁又次郎八百長才の鮭にまつわる伝説もあり、漁業の神として崇敬されています。拝殿前には、大祐明神岩と呼ばれる大きな岩があります。風鎮祭には、風を鎮めて海上安全・大漁満足、そして収穫時期の五穀豊穡が祈願されます。

### ●祭神

豊宇気比売命(とよけひめのみこと)

### ●年間行事

祈年祭(4月3日)  
風鎮祭(7月下旬)  
例大祭(9月2日)  
歳越祭(12月8日)



〒031-0812 八戸市湊町字下条12 TEL.0178-33-9412



## 05 三嶋神社 (みしまじんじゃ)

八戸港に面した丘に鎮座する開運厄除祈願のお社。



八戸港を臨む高台に鎮座する白銀町の氏神です。地元では「三嶋さま」と呼ばれ親しまれています。7月の例祭は賑やかで、130軒にも及ぶ露店が並び近郷近在からの参拝客は、七夕にちなんだ「願い短冊」に思いを込めます。なお、短冊は例祭の2日間だけ頒布されます。参拝の後、大小の漁船が係船する岸壁を散策するのもよいでしょう。普段は静かなただずまいを見せています。

### ●祭神

市杵嶋姫命(いちきしまひめのみこと)  
多岐理毘売命(たぎりひめのみこと)  
多岐都比売命(たぎつひめのみこと)

### ●年間行事

節分・厄除祭(2月3日)  
春季例祭・七夕祭(7月6日・7日)  
秋季例祭(10月7日)  
年越祭(12月6日)

〒031-0822 八戸市白銀町三島上11-1 TEL.0178-33-0320  
<http://www.htv-net.ne.jp/~mishima/>



## 06 蕪嶋神社 (かぶしまじんじゃ)

蕪島を3周して参拝・運開ぎめぐりにチャレンジ!



神社の創建は鎌倉時代永仁4年(1296)と伝えられ、八戸の表鬼門の守護神として厄除・財運・才智・子授安産の神様と信仰されてきました。蕪島は毎年3万羽を超えるうみねこが乱舞する天然記念物うみねこ繁殖地に指定されています。昔から、うみねこのフンが身体に当たると運が上がるといわれており、神社から記念として会運証明書がもらえます。

### ●祭神

市杵嶋姫命(いちきしまひめのみこと)

### ●年間行事

例大祭(旧3月3日)  
蕪嶋まつり(4月第3土曜日・日曜日)  
さめ浜まつり(7月第4日曜日)  
海防艦稲木慰霊祭(8月9日)  
納め弁天年越感謝祭(12月1日曜日)  
蕪嶋カウントダウン(12月大晦日)

〒031-0841 八戸市鮫町字鮫56-2 TEL.0178-34-2730





## 07 大久保天満宮(おおくぼてんまんぐう)

学業上達、合格祈願は大久保天満宮へ。



室町時代1505年に大久保郷の豪農工藤氏が氏神様として建立し祭祀したのが始まりです。久延毘古命は田の神、鳥獣祓いの神であると共に、知恵の神として信仰されています。菅原道真公は学業成就や武芸上達の神として信仰されています。受験合格祈願やスポーツ等の必勝祈願に多くの方が参拝に訪れます。

### ●祭神

菅原道真(すがわらのみちざね)  
久延毘古命(くえびこのみこと)

### ●年間行事

例祭(8月25日)



〒031-0833 八戸市大久保沢目14 【問い合わせ先】TEL.090-9426-1962(伊藤)

## 08 四本松神社(しほんまつじんじや)

国道45号線沿いに鎮座する山の神さま。



当社は、階上岳・八甲田山脈を見渡せる、八戸市を南北に貫く国道45号線沿いの湊高台地区に鎮座します。境内には、巨大な御神木「せんの木」をはじめ、松・桜・つつじ・さつきが生い茂り、新緑や紅葉を楽しむことができます。古くより家内安全・商売繁盛・海上安全・林業守護の「山の神さま」として、崇敬を集めています。

### ●祭神

大山積神(おおやまつみのかみ)

### ●年間行事

節分祭(2月3日)  
春季大祭(旧4月12日)  
例祭(旧8月12日)  
年越祭(12月12日)



〒031-0823 八戸市湊高台一丁目1-16 TEL.0178-33-6647

## 09 潮山神社 (うしおやまじんじゃ)

行基にまつわる観音像を境内に祀る神仏混淆の霊地。



御祭神の経津主命(ふつぬしのみこと)は文治2年(1186)にお祀りされたと記録にあります。当初、海潮山応物寺にまつわる観音堂にお祀りされていましたが、明治の神仏分離令により潮山神社として現在に至り、参道は樹齢200年の杉木立に囲まれ、神域にふさわしいたたずまいをみせ、県の「私たちの名水」に選ばれた寺下川が流れ自然あふれた聖域です。

- 祭神 経津主命(ふつぬしのみこと)
- 年間行事 例祭(5月第3土・日曜日)



〒039-1202 三戸郡階上町赤保内字寺下11 TEL.0178-88-2027

## 10 白髭神社 (しらひげじんじや) 五戸川河口の守護神。



当社は浜市川地区の氏神として祀られています。夏の例祭には土俵が作られ、すもう大会が行われます。昔は「くじら」塚がありました。

- 祭神 武内宿禰(たけうちのみこと)
- 年間行事 例祭(6月15日)



〒039-2241 八戸市市川町字橋向2  
【問い合わせ先】大祐神社 TEL.0178-33-9412

## 11 八坂神社 (やさかじんじや) 神社近くのグレットタワーで太平洋と八戸周辺を一望。



湊館鼻地域の鎮守の神様として信仰される八坂神社。古くから漁業に従事する氏子の多い地域において、御祭神である素盞雄尊の雄々しき御神徳が必要不可欠であったのでしよう。

- 祭神 素盞雄尊(すさのおのみこと)
- 年間行事 例祭(7月)  
歳越祭(11月)



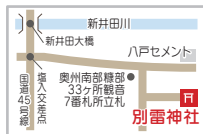
〒031-0812 八戸市大字湊町字館鼻20  
【問い合わせ先】御前神社 TEL.0178-24-3393

## ⑫ 別雷神社 (わけいかづちじんじゃ) 岩盤の上に鎮座する岩淵新山権現堂観音。



八戸藩南部家が再建し、鎮護神であった由緒ある霊場です。明治の神仏分離令で村社別雷神社となり、今なお奥州南部糠部三十三ヶ所観音七番札所として信仰を集めています。

- 祭神** 別雷神(わけいかづちのかみ)
- 年間行事** 春祭(4月第2日曜日)  
例祭(7月第2日曜日)  
年越祭(12月第2日曜日)



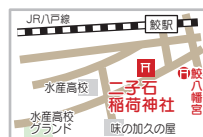
〒031-0813 八戸市新井田字岩淵34  
【問い合わせ先】四本松神社 TEL.0178-33-6647

## ⑬ 二子石稻荷神社 (ふたごいしいなりじんじゃ) えのきとけやきが茂り夏も涼しい。



今から400年前、二子石村に住む2人の老女に御神託がありました。杉の大木の根元より神鏡が現われ、湧き出る清水を神水とし、この霊地に一祠を建立。稲荷大神を勧請し、氏神としました。

- 祭神** 倉稲魂命(うかのみたまのみこと)
- 年間行事** 例祭(5月19日)  
年越祭(12月19日)



〒031-0841 八戸市鮫町字二見町4-1  
【問い合わせ先】TEL.0178-22-4270(前田)

## ⑭ 鮫八幡宮 (さめはちまんぐう) JR八戸線鮫駅から3分。樺の巨木が目印のお社。



1753年八戸藩の豪商下田屋利兵衛が村内安全を願い社殿を建てたのが始まりとされます。豪商がかかわる神社の為、商売繁盛や地域柄漁業関係者の信仰が篤いお社です。

- 祭神** 応神天皇(おうじんてんのう)  
天照大神(あまてらすおおみかみ)  
大物主神(おおものぬしのかみ)
- 年間行事** 例祭日(9月15日)



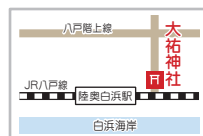
〒031-0841 八戸市鮫町住吉町22  
【問い合わせ先】三嶋神社 TEL.0178-33-0320

## ⑮ 大祐神社 (だいすけじんじゃ) 白浜海水浴場を見下ろすお社。



白浜海水浴場の近くに鎮座し、夏には海開きが行われ、多くの老若男女が泳ぎにきます。海水浴場百選にも選ばれています。

- 祭神** 豊宇氣比売命(とようけひめのみこと)
- 年間行事** 例祭(6月上旬)



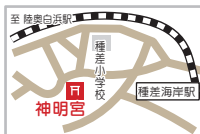
〒031-0841 八戸市鮫町字堀込22  
【問い合わせ先】大祐神社 TEL.0178-33-9412

## ①⑥ 神明宮 (しんめいぐう) 種差小学校近くの静かな集落に鎮座する神明さま。



この地域の代表者深川家が代々お祀りした神様が鎮守の神様となりました。深久保地区住民の心の支えとして、篤い信仰が今も続いています。

- 祭神 天照皇大神(あまてらすおおみかみ)
- 年間行事 例祭(6月)  
年越祭(12月)



〒031-0841 八戸市鮫町字番屋23  
【問い合わせ先】御前神社 TEL.0178-24-3393

## ①⑦ 熊野神社 (くまのじんじや) 神社から5分、種差海岸と太平洋を望む景色は必見。



平泉を逃れた源義経主従が、種差海岸に上陸し休憩した場所とされているのがここ熊野神社。義経北方伝説の語り部として杉木立の中にひっそりと鎮座しています。

- 祭神 伊弉那美命(いざなみのみこと)
- 年間行事 例祭(6月)



〒031-0841 八戸市鮫町字熊野林11-1  
【問い合わせ先】御前神社 TEL.0178-24-3393

## ①⑧ 高岩神社 (たかいわじんじや) 太平洋が一望できる砲台跡にあるお社。



天候の良い時期には、水平線が望め、太平洋から出る朝日を良く見ることが出来ます。

- 祭神 宇賀之魂命(うがのみたまのみこと)
- 年間行事 例祭(12月9日)



〒031-0841 八戸市鮫町字高岩24  
【問い合わせ先】大祐神社 TEL.0178-33-9412

## ①⑨ 巖島神社 (いつくしまじんじや) 大久喜港の海に浮かぶように見えるお社。



現在は堤防で陸つながりになっていますが、昔は祭典時には泳いで渡っていました。東日本大震災で流された鳥居がアメリカより帰り、その笠木を使い鳥居を建立しました。

- 祭神 市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)
- 年間行事 例祭(旧3月3日)



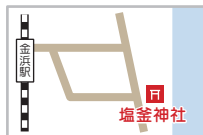
〒031-0841 八戸市鮫町字大作平45  
【問い合わせ先】大祐神社 TEL.0178-33-9412

## ⑳ 塩釜神社 (しおがまじんじや) 八戸で最も南にあるお社。



太平洋に面した金浜港の小高い岩場に鎮座し、漁業の神様として祀られています。例祭日には地域の運動会が行われます。

- 祭神 塩土老翁命(しおつちおじのみこと)
- 年間行事 例祭(6月下旬)  
歳越祭(12月12日)



〒031-0843 八戸市金浜字塩釜3  
【問い合わせ先】大祐神社 TEL.0178-33-9412

## ㉑ 金刀比羅神社 (ことひらじんじや)



寛政6年(1794)の勧請で社殿は昭和8年の再建です。

- 祭神 大己貴命(おこなむちのみこと)
- 年間行事 例祭(5月10日)



〒039-1201 三戸郡階上町道仏字小舟渡11  
【問い合わせ先】TEL.0178-88-2027(桑原)

## ㉒ 館神社 (たてじんじや)



元龜3年(1572)8月の勧請で往古の館跡に鎮座し、その麓にある西光寺の創建された文安年中すでに八幡社があった事が寺の過去帳によって明らかである。現在の社殿は昭和に入り再建したものです。

- 祭神 菅田別尊(ほんだわけのみこと)
- 年間行事 例祭(旧5月15日)



〒039-1201 三戸郡階上町道仏字道仏3  
【問い合わせ先】TEL.0178-88-2027(桑原)

## ㉓ 日吉神社 (ひよしじんじや)



享保19年(1734)4月11日大山祇命を勧請して山王堂を建立するに始まり以来産土神として地域民の崇敬篤き神社として現在に至ります。

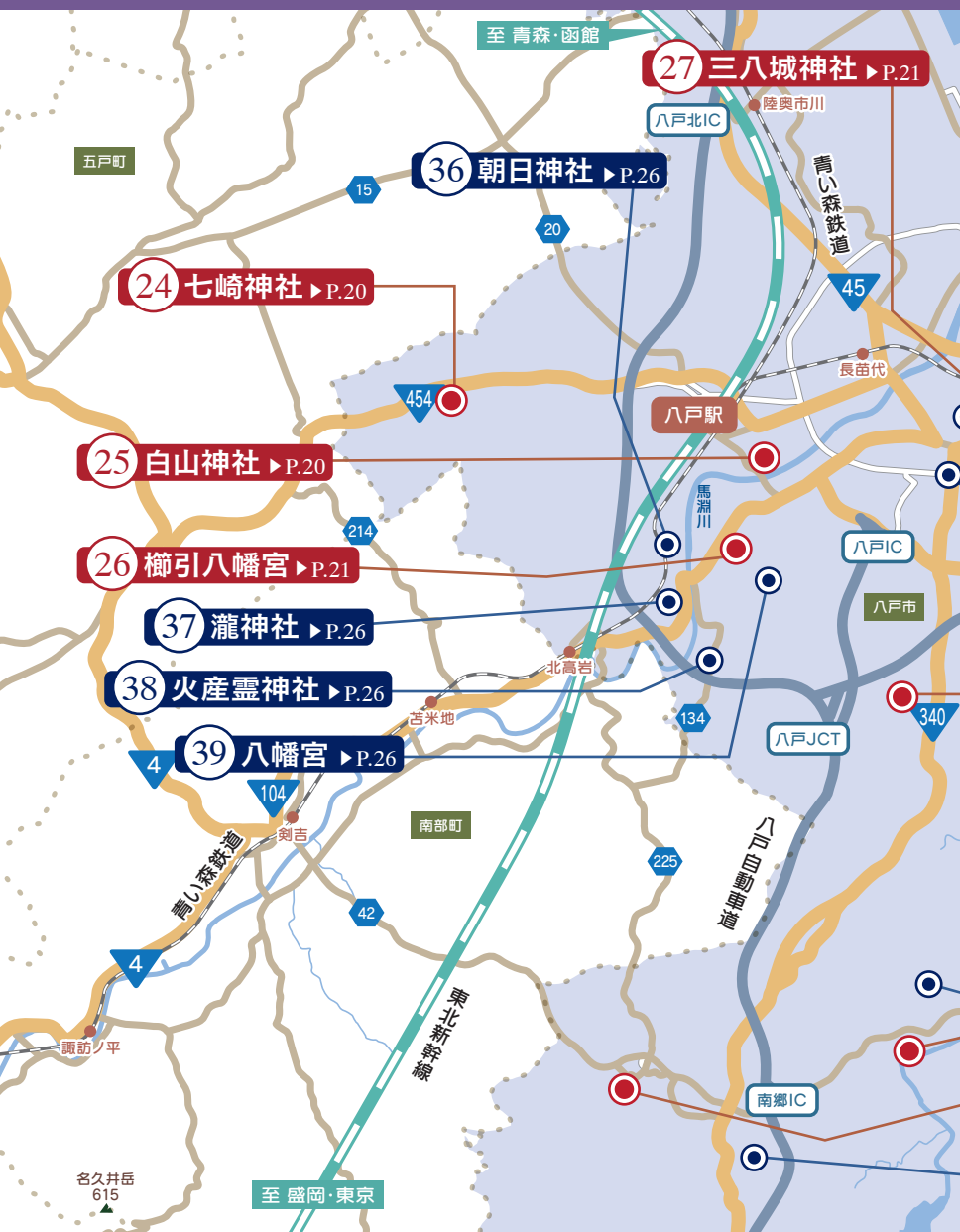
- 祭神 大山祇命(おおやまつみのみこと)  
菅原道真(すがわらみちざね)  
素盞尊(すさのおのみこと)
- 年間行事 例祭(旧7月14日)



〒039-1205 三戸郡階上町晴山沢字中城23  
【問い合わせ先】TEL.0178-88-2027(桑原)



# 八戸市内陸部(南郷を含む)マップ



● 本専社 神職が普段常駐している専社。

○ 兼専社 他に本専社を持った神職が兼任している専社。



## ②4 七崎神社（ならさきじんじゃ）

南部糠部三十三観音十五番札所七崎観音。



八戸駅から五戸へ向かう途中の左側、豊崎町永福寺に鎮座している神社です。創建は天長元年(844)と伝えられる古社です。うっそうとした杉木立の中、自然にまかせたゆるやかな参道を進んでいくと、中程にはいかにも歴史を感じさせる神門があります。境内のあちこちには杉の大木が生い茂り、鎮守の森とはまさにこのことかと思わせるようなたたずまいを見せています。

- 祭神  
伊那那美尊(いざなみのみこと)
- 年間行事  
おこもり(旧1月7日)  
祈年祭(5月7日)  
例祭(9月7日)  
新嘗祭(11月23日)



〒039-1109 八戸市豊崎町字上永福寺127-2 TEL.0178-27-4093/090-2029-0776(白石)

## ②5 白山神社（はくさんじんじゃ）

交通の便もいい、八戸駅前の鎮守さま。



当社は八戸市の玄関口「八戸駅」より東南約500mのところ、馬淵川の近くに鎮座しています。創建は天正年間の頃であります。現在の地には神社に残る棟札から元和2年(1616)以前であると想われます。以来、氏子崇敬者に守り伝えられて、上長地区の産土神社として信奉されています。

- 祭神  
伊那那美尊(いざなみのみこと)
- 年間行事  
例祭(9月2日)



〒039-1101 八戸市尻内町字尻内60 TEL.0178-27-1400  
mail:hakusanmk1400@biglobe.ne.jp



## ②⑥ 櫛引八幡宮 (くしきはちまんぐう)

国宝・重要文化財を数多く所蔵する南部総鎮守の古社。



南部家初代光行公の創建で、南部領の総鎮守として約800年の歴史を重ねています。神域には杉の大木が立ち並び、森厳な中に重要文化財の御社殿が鎮座します。例大祭は仲秋の名月の美しい旧暦8月15日に行われ、珍しい流鏝馬も奉納されます。国内外においても評価が高い赤・白の2領の国宝の大鎧は、常時拝観が可能です。県・市文化財も展示しています。

- 祭神  
菅田別尊(ほんだわけのみこと)
- 年間行事  
おこもり祭(旧1月14日)  
春季大祭 祈年祭(旧4月14・15日)  
お浜入り(5月14日)  
取子礼祭(旧端午の節句・旧5月5日)  
夏越大祓 茅の輪くぐり神事(6月30日)  
例大祭(旧8月15日)



〒039-1105 八戸市八幡字八幡丁3-2 TEL.0178-27-3053

## ②⑦ 三八城神社 (みやぎじんじや)

市街地の緑のオアシス、八戸城跡にたたずむお社。



八戸城内に祀られていた神明宮と新羅宮に南部家の祖、初代八戸藩主を合わせお祀りしています。市中心商店街にも近く、市庁・公会堂・三八城公園と隣接し、緑のオアシスとなっています。地域の活性化と人々の交流の場として、4月から11月の毎週日曜日には早朝から8時まで朝市が開かれています。

- 祭神  
天照大御神(あまてらすおおみかみ)  
南部左衛門佐直房命(なんぶささえものすけなおふさのみこと)  
新羅三郎義光命(しんらさぶろうよしみつのみこと)  
南部三郎光行命(なんぶさぶろうみつゆきのみこと)
- 年間行事  
祈年祭(2月17日)  
例祭(8月6日)  
新嘗祭(11月23日)



〒031-0075 八戸市内丸一丁目1-69

## 28 靄神社（おがみじんじゃ）

古くからの神楽を伝える三社大祭発祥のお社。



この神社は昔、法霊大明神と称されていました。龍神（水の神）であることから稲作に伴う農耕神として八戸藩の守護神として祀られました。五穀豊穰・日和乞・雨乞など何でもお祈りすると願いが聞き届けられるといわれ、人々に厚く信仰されました。現在、人々は法霊さんと呼んでいます。法霊さんは山伏修験者であり、熊野三山で修行し祀られておよそ800年になります。

### ●祭神

高靄神（たかおがみのかみ）  
法霊大明神（ほうりょうだいみょうじん）

### ●年間行事

春祭（5月5日）  
神楽祭（5月第2土・日曜日）  
八戸三社大祭（8月1日～3日）  
秋祭（11月23日）



〒031-0075 八戸市内丸二丁目1-51 TEL.0178-22-1770

## 29 神明宮（しんめいぐう）

八戸に夏の訪れを告げる神明さんの茅の輪祭。



幾多の遷座を経て現在地には宝永6年（1709）に鎮座しました。八戸藩の重要な祈願所の一つとされた神社です。茅の輪祭は「月の輪」とも呼ばれ多くの参拝者で賑わいます。明治20年頃よりこの神社の祭礼に加わり神輿渡御し、現在の三社大祭となりました。御神木の大イチョウは樹齢600年以上といわれ、市街地では珍しい大樹として崇め親しまれています。

### ●祭神

天照皇大神（あまてらすすめおおみかみ）

### ●年間行事

茅の輪祭（6月30日・7月1日）  
八戸三社大祭（8月1日～8月3日）  
例祭（10月16日）



〒031-0044 八戸市廿六日町26-1 TEL.0178-22-8883

## ③① 長者山新羅神社 (ちょうじゃさんしんらじんじゃ)

四季折々のまつりで賑わう長者の森。



八戸の良い子が集まるお伽の森、春の訪れを告げるえんぶり、観桜会、戦没者の英霊を祀る桜山招魂社の慰霊祭、7月13日から3日間行われる長者山のお祭りなど、お社は四季折々に賑わいます。また、八戸三社大祭中日には、加賀美流付伝騎馬打毬が行われ、長者の森は八戸の行事の中心地です。

### ●祭神

素戔之鳴尊(すさのおのみこと)  
新羅三郎源義光之命  
(しんらさぶろうみなもとのおよしみつのみこと)

### ●年間行事

八戸えんぶり(2月17日)  
戦没者慰霊祭(5月3日)  
八戸三社大祭(8月1日～3日、中日は例祭)  
新嘗祭(11月23日)



〒031-0021 八戸市長者一丁目6-10 TEL.0178-22-1769

## ③② 新田八幡宮(にっただはちまんぐう)

新田城跡地に鎮座し、秋には新田城まつりが行われる。



新田城跡は、八戸市における中世の城跡として根城跡に並ぶ城跡であるこの所に鎮座し、大館地区の氏神としてお祀りされています。境内は杉の木が多く、夏でも涼しく地元の憩いの場所になっています。10月上旬には「新田城まつり」が開催され、古式ゆかしく武者行列が行われます。

### ●祭神

誉田別尊(ほんだわけのみこと)

### ●年間行事

例祭(旧8月15日)  
新田城まつり(10月上旬)



〒031-0813 八戸市新井田字館平10 【問い合わせ先】大祐神社 TEL.0178-33-9412

## ③2 月山神社（がっさんじんじゃ）

多くの小絵馬を伝える松館の古社。



八戸市の南方、子どもの国の近く松館の小高い丘に鎮座しています。創建は15世紀初頭と言われ、出羽湯殿山・月山の分霊をお祀りしています。神仏習合の時代には別名、鶴輪山九星寺と称し向鶴の紋と南部家九曜の紋の由来を伝える由緒あるお社です。現在は松館地区の産土神として地域の人々から崇敬されています。

- 祭神  
月夜見尊（つくよみのみこと）
- 年間行事  
春季例祭（5月15日）  
秋季例祭（旧9月29日）  
年越祭（12月14日）



〒031-0815 八戸市松館字籠田38 TEL.0178-25-0649

## ③3 天狗山神社（てんぐやまじんじゃ）

石段（64段）を登拝すると、天狗さんに会えます。



八幡馬の発祥地と伝えられる天狗沢にあります。1293年前田孫作が一族の守護神として建立したもので、祭神は猿田彦大神で道案内の神様です。例大祭は11月23日で三八地方はもとより岩手県北からも多くの参拝客で賑わいます。猿田彦大神はその容貌から天狗さんと呼ばれています。拝殿には天狗の履く一枚歯の大きな下駄が奉納されています。

- 祭神  
猿田彦大神（さるたひこのおおかみ）
- 年間行事  
交通安全祈願祭（4月最終日曜日）  
夏越祭（6月最終日曜日）  
例大祭（11月23日）



〒031-0023 八戸市是川字雲畑11-7 【問い合わせ先】 TEL.0178-22-4270(前田)



## 34 龍興山神社（りゅうこうざんじんじや）



修験道場の雰囲気をも今に残す。



社伝によると治承元年(1177)平清盛の子、重盛が父をいさめたことにより都を秘かに去り、当地に余生を送るべく最適の場所を見出しここに一寺を建立したといわれています。その後、明治に入り、神仏分離令により、現在の龍興山神社と改められました。神社へ通ずる道は奇岩怪石や老松老杉がうっそうと茂り、神宿る神域にふさわしい雰囲気をとどめています。

- 祭神  
豊玉彦之命(とよたまひこのみこと)
- 年間行事  
例祭(6月第1土・日曜日)



〒031-0202 八戸市南郷島守字内山5 【問い合わせ先】TEL.080-8221-3183(龍興山神社)

## 35 月山神社（がっさんじんじや）



眼病平癒の神様。



創立は享保二十乙卯年2月。往昔坂上田村麻呂大將軍が東征の際、眼病を患い、月山神社に眼病平癒を祈願した処、直ちに目の病が治り東征の目的を果たしたと伝えられています。また、南北朝時代には陸奥の國司北畠顕家氏が巡視の際、眼病に罹り、平癒祈願し回復したと言われ、地域住民に崇敬されています。

- 祭神  
月読命(つよくみのみこと)
- 年間行事  
例祭(5月8日)



〒031-0114 八戸市南郷中野字ハツ役33 【問い合わせ先】TEL.0178-82-2166(日ノ沢)

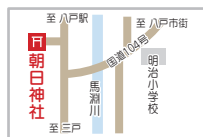
### ③⑥ 朝日神社 (あさひじんじや) 霊験あらたかな朝日さま。



寛永7年(1710)3月19日に一日市村の守護神として祀られて以来、朝日大権現とも称しました。現在の社殿は、文政元年(1818)7月17日に再建したものです。

- 祭神 伊邪那岐命(いざなぎのみこと)  
伊邪那美命(いざなみのみこと)
- 年間行事 例祭(8月19日)

〒039-1107 八戸市櫛引字一日市28  
【問い合わせ先】 櫛引八幡宮 TEL.0178-27-3053



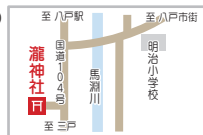
### ③⑦ 瀧神社 (たきじんじや) いのちの美水をお授け下さるお瀧さま。



天文年中(1532~)に田づくりに精を出していた老人は、水が涸渇して悲しんでいました。ある夜、お告げがあり、老人は森蔵な場所を選び祠を建てて瀧大明神として祀り、これが始まりと言われています。

- 祭神 速秋津日命(はやあきつひのみこと)
- 年間行事 例祭(8月28日)

〒039-1107 八戸市櫛引字寺沢29  
【問い合わせ先】 櫛引八幡宮 TEL.0178-27-3053



### ③⑧ 火産霊神社 (ほむすびじんじや) 櫛引と通清水の鎮守さま。馬の守護神の蒼前神も祀る。



三戸郡館村櫛引に鎮座しお祀りしていましたが、大正3年現在の鎮座地にお遷しお祀りしました。現在の社殿は平成19年に竣工し、ご祭神は火の神と境内に馬の神をお祀りしており、古くからご縁日は賑わう参拝者で溢れます。

- 祭神 火産霊神(ほむすびのかみ)
- 年間行事 例祭(旧6月1日)

〒039-1107 八戸市櫛引字蒼前14-2  
【問い合わせ先】 櫛引八幡宮 TEL.0178-27-3053



### ③⑨ 八幡宮 (はちまんぐう) 三十三観音めぐりの札所で、参拝者の絶えない八幡宮。



寛永10年(1633)櫛引氏一族の坂牛氏が、居城の守護として坂牛観音を勧請し観音堂を創建。明治4年の神仏分離に際し、聖徳太子作と伝わる本尊千手観音像を涼雲院に遷し、村社坂牛八幡宮と称し現在に至ります。

- 祭神 菅田別尊(ほんだわけのみこと)
- 年間行事 例祭(9月17日)

〒039-1106 八戸市坂牛字坂牛18  
【問い合わせ先】 櫛引八幡宮 TEL.0178-27-3053



## ④① 天満宮 (てんまんぐう) 学問の神・技芸上達の神をお祀りする根城の天満宮。



康正2年(1456)八戸根城城主八戸政経が田名部の海上で嵐が鎮まるよう祈願し、目的を果たした後、根城の東側に社殿を建立したのが始まりです。

- 祭神 菅原道真命(すがわらみちざねのみこと)
- 年間行事 例祭(9月25日)



〒031-0073 八戸市売市字長根6

【問い合わせ先】 櫛引八幡宮 TEL.0178-27-3053

## ④② 柵形稻荷神社 (ますかたいなりじんじや) 史跡「柵形」の地点に在る。



1591年櫛引城落城以来御神体は流転を経て1782年に柵形の守護神として鎮座しました。1783年京都伏見稻荷神社より正一位の位階を賜りました。

- 祭神 宇迦之御魂神(うかのみたまのかみ)
- 年間行事  
初午祭(旧初午の日) 例大祭(9月3日)  
節分祭(2月3日) 新嘗祭(11月23日)  
夏越祭(6月30日) 大祓祭(12月31日)



〒039-1166 八戸市根城一丁目4-11

【問い合わせ先】 TEL.0178-22-4270(前田)

## ④③ 八幡宮 (はちまんぐう) モミジの大木と杉林に囲まれた鎮守さま。



明治維新前は八幡大菩薩と称し、神仏分離によって白幡八幡と改称。寛永14年(1637)再興、八幡宮との棟札が残り、創立日は更に遡ると考えられます。

- 祭神 応神天皇(おうじんてんのう)
- 年間行事 例祭(8月15日)



〒031-0023 八戸市是川字白幡10

【問い合わせ先】 櫛引八幡宮 TEL.0178-27-3053

## ④④ 新山神社 (しんざんじんじや) 小高い山の中腹に大木に囲まれた是川館前の鎮守さま。



小高い丘を登り、更に進むと山の中腹が拓けて大木に囲まれた社殿が姿をあらわします。神社に辿り着くには道順を知る者以外には困難で、崇敬無き者を拒むかの様です。

- 祭神 伊邪那岐命(いざなぎのみこと)  
伊邪那美命(いざなみのみこと)  
大山祇神(おおやまつみのかみ)
- 年間行事 例祭(9月3日)



〒031-0023 八戸市是川字館前110

【問い合わせ先】 櫛引八幡宮 TEL.0178-27-3053

## 44 高山神社 （たかやまじんじゃ） 山林大火から逃れた靈験あらたかな神“金勢様”。



島守盆地の北西、標高180mの山頂に糠部三十三観音、第四番高山聖観音様と金勢様が祀られています。諸願成就の神として信仰を集め、御利益を求める人々で賑わっています。

- 祭神 伊邪那岐命（いざなぎのみこと）  
伊邪那美命（いざなみのみこと）
- 年間行事 例祭（8月17日）

〒031-0202 八戸市南郷島守字北向43  
【問い合わせ先】TEL.090-7667-9090（小沢）



## 45 稲荷神社 （いなりじんじゃ） 木々の緑と鳥の声に包まれた市野沢の守り神。



南郷市野沢の産土神として崇敬され、古くは諸祭神をお祀りしたといわれています。明治以降稲荷神社として今日に至り、境内も広く心落ち着く神域に野鳥のさえずりが響きます。

- 祭神 宇迦之御霊之命  
（うかのみたまのみこと）
- 年間行事 例祭（8月25日）

〒031-0111 八戸市南郷市野沢字林合13  
【問い合わせ先】TEL.090-7667-9090（小沢）



# 家づくりのまつり



かいたいきよはらい  
**解体清祓**

改築や解体のときは今まで住んだ家に感謝し解体工事の無事を祈ります。

じちんさい  
**地鎮祭**

「とこずめのまつり」「じまつり」とも言われ、工事を始める前に、敷地を祓い清める祭りで土地と建物の安全堅固、工事の無事安全を祈願します。

じょうとうさい  
**上棟祭**

「むねあげまつり」「たてまえ」とも言い、家屋の守護神、工匠の神さまにこれまでの工事の感謝と、完成までのご加護を祈願する祭りです。

しんたくさい  
**新宅祭**

「竣工祭」とも言い、氏神さまに対して、建物が無事完成したことを報告感謝し、家屋が安全堅固で、永遠に繁栄することを祈る祭りです。  
神棚を設け、一家の無事安全を祈りましょう。



あんざんきがん

## 安産祈願 新しい家族の誕生を願って



医学の発達した現代でもお産に心配はつきものです。神社で、お産の無事をお祈りするのが安産祈願です。

地域によっては、**妊娠五ヶ月目の戌(いぬ)の日**などに、子宝に恵まれたことを感謝し安産の願いを込めて、腹帯を締める「着帯の祝い」を行います。

こうして新たな命の誕生を一層身近に、一層大切にお祈りします。

はつみやまい

## 初宮参り 神さまに初めてのご挨拶



赤ちゃんが、生まれて初めて神社にお参りすることを初宮参りと言います。地域差はありますが、**生後30日を目安**に神社にお参りして、神さまに赤ちゃんが無事に誕生したお礼と、地域の一員として健やかに成長することをお祈りします。

しちごさんもうて

## 七五三詣 家族で祝う子供の成長



子供の成長にあわせ、**三歳の男女児、五歳の男児、七歳の女児**が神社にお参りしてお祝いします。これまでのご加護に感謝し、さらなる成長を祈るのが七五三参りです。

小さな子供の晴れ着姿はとても可愛らしく、社会の一員に成っていく「始めの一步」でもあります。また、縁起物の千歳飴には、長寿と末永い幸せへの祈りが込められています。

やくばら

## 厄祓い 厄を祓って福を招く



厄年は社会的・身体的に転換期を迎える時期と重なり、体調を崩しやすいものです。数え年で**男性は二十五・四十二・六十一歳、女性は十九・三十三・三十七歳**を本厄、その前後を前厄・後厄と言います。

厄による災いが起こる前にお祓いをうけ、身心共に健やかで一層充実した日々を送れるように祈ることは、家族や周りの人々の幸せの為とも言えます。

# 南部町マップ



● 本務社 神職が普段常駐している神社。

◎ 兼務社 他に本務社を持った神職が兼任している神社。



46 御嶽神社 ▶ P.32

50 月山神社 ▶ P.34

51 八幡宮 ▶ P.34

52 巖嶋神社 ▶ P.34

53 稻荷神社 ▶ P.34

54 斗賀神社 ▶ P.35

58 白山神社 ▶ P.36

47 諏訪神社 ▶ P.32

48 諏訪神社 ▶ P.33

49 長谷山神社 ▶ P.33

59 八坂神社 ▶ P.36

60 平神社 ▶ P.36

68 荒神社 ▶ P.38

至 盛岡・東京

## 46 御嶽神社 (みたけじんじや)

奥宮参拝のあとの汗をバーデパークで。



旧福地村を臨む高台の森に鎮座する氏神様です。眼下に一面田んぼが広がり、野鳥の声に耳を傾けながら森林浴が楽しめます。参道の入口には千本杉といわれる大樹がそびえており、神域にふさわしい雰囲気です。すぐ近くにはバーデパークがあり、参拝の後訪ねてみてはいかがでしょうか。温泉やプールなど家族で楽しむか、心身ともにリフレッシュされることでしょう。

### ●祭神

大天祇命(おおやまつみのみこと)  
天照大神(あまてらすおおかみ)  
嶽大明神(だけだいみょうじん)

### ●年間行事

春季例祭(5月5日)  
秋季例祭(9月17日)  
新嘗祭(12月17日)



〒039-0802 三戸郡南部町苫米地字御嶽24 TEL.0178-84-2435

## 47 諏訪神社 (すわじんじや)

鎌倉以降、多くの武将に信仰されたお社。



当社は名久井岳麓に広がる上名久井の丘にあります。創建は鎌倉時代までさかのぼり、以後多くの武将たちに信仰されてきたお社でした。今ではおだやかな気候を利用して、さくらんぼやりんごをはじめとする果樹栽培が盛んに行われている地域の産土神として広く信仰を集めています。

### ●祭神

建御名方命(たけみなかたのみこと)

### ●年間行事

春祈禱(3月1日～3日)  
例大祭・夏祭(8月27日～29日)  
新嘗祭(11月23日)



〒039-0507 三戸郡南部町高瀬字宮野38 TEL.0178-76-3593

## 48 諏訪神社 (すわじんじゃ)

南部藩発祥の地、南部町へ鎮座。南部藩の祈禱社。

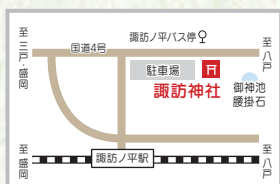


南部藩主光行公が甲州からの入国に際し、新領開発・藩中安全の守護神として建久3年諏訪ノ平に創建。以来累代藩主に篤信され例年神せんを藩公へ献上、その時使用した木製黒漆塗の御神酒入れが今も残っています。明治の神仏分離に際し全村神葬祭となり、全国的にも珍しい村となりました。又、子安様が祀られており子宝・安産を祈る子安講祭が執り行われています。

- 祭神  
建御名方富命(たけみなかたとみのみこと)  
八坂刃賣命(やさかとめのみこと)

- 年間行事  
焼納祭(1月第2日曜日)  
子安講祭(1月23日)  
例祭(9月5日)  
新嘗祭(11月23日)  
月次祭(毎月27日)

〒039-0101 三戸郡南部町玉掛字諏訪ノ平49-1 TEL.0179-34-2536



## 49 長谷山神社 (はせやまじんじゃ)

弥陀八幡と称し、村内の氏神さま。



本神社は、先に弥陀八幡と称し、村内の氏神として崇敬された。明治14年頃、長谷山神社と改称されました。

- 祭神  
伊邪那岐尊(いざなぎのみこと)
- 年間行事  
例祭(8月16日)

〒039-0103 三戸郡南部町大向字飛鳥63 TEL.0179-22-2093



⑤0 月山神社 (がっさんじんじや) 神社の境内入口に池があり、春の桜がすばらしい



月山権現として宝暦5年(1756)に建築されました。現在の社殿は昭和50年に新築したものです。

- 祭神 月読命(つきよのみこと)
- 年間行事 例祭日(5月1日)

〒039-0811 三戸郡南部町法師岡字林ノ後39  
【問い合わせ先】御嶽神社 TEL.0178-84-2435



⑤1 八幡宮 (はちまんぐう) ケヤキの古木(御神木)がステキ。



享保15年庚戌年4月建立。社守である小泉善次郎の祖先によって八幡大菩薩宝殿が創建されたと伝えられています。

- 祭神 誉田別尊(ほんだわけのみこと)
- 年間行事 例祭日(4月15日)

〒039-0805 三戸郡南部町小泉字小泉13  
【問い合わせ先】御嶽神社 TEL.0178-84-2435



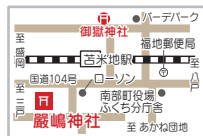
⑤2 巖嶋神社 (いつくしまじんじや)



享保9年(1724)福田部落を馬淵川の水災より防護するため奉祀したと伝えられております。

- 祭神 市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)
- 年間行事 例祭日(5月8日)

〒039-0815 三戸郡南部町福田字古館32  
【問い合わせ先】御嶽神社 TEL.0178-84-2435



⑤3 稲荷神社 (いなりじんじや) 雪の中各家を廻る権現様で家内安全。



農業が盛んな地区であったため、従って農民の崇敬的になりました。春の例祭には神楽が加わり、各家庭を廻り家内安全、商売繁盛を祈願する春祈禱が行われます。

- 祭神 宇迦能御魂命(うかのみたまのみこと)
- 年間行事 例祭日(3月3日)

〒039-0611 三戸郡南部町斗賀字下斗賀28  
【問い合わせ先】大祐神社 TEL.0178-33-9412





## 54 斗賀神社 (とがじんじゃ) 四代八戸藩主南部広信公奇運の撞鐘が斗賀の里に響く。



大同2年(807)6月17日、将軍田村利仁公が当霊現山斗賀の里に創建したと伝えられています。境内には撞鐘堂があり、糠部三十三観音の十六番札所ともなっています。

- 祭神 伊邪那美尊(いざなみのみこと)  
月読尊(つきよみのみこと)  
猿田彦命(さるだひこのみこと)
- 年間行事 例祭日(9月17日)



〒039-0611 三戸郡南部町斗賀字上斗賀7  
【問い合わせ先】諏訪神社 TEL.0179-34-2536

## 55 諏訪神社 (すわじんじゃ) 南部手踊り発祥の地、諏訪の神さまに伝統芸能を奉納。



大同2年(807)将軍田村利仁公が、深山権現の湧水を、銘剣に焼刃すべき霊水といひ剣吉と命名。以来諏訪神社と崇め例祭には神輿渡御が行われ、山車の上での唄や手踊りが有名です。

- 祭神 建御名方命(たけみなかたのみこと)
- 年間行事 例祭日(9月8日)



〒039-0612 三戸郡南部町剣吉字上町44  
【問い合わせ先】諏訪神社 TEL.0179-34-2536

## 56 稲荷神社 (いなりじんじゃ) ケヤキの御神木がすばらしい



今からおよそ500年前、文亀の頃(1501)に御創建されたものです。昭和46年御鎮座500年を記念して新築されました。

- 祭神 宇賀能御魂命(うがのみたまのみこと)
- 年間行事 例祭日(9月13日)



〒039-0613 三戸郡南部町森越字上小路9  
【問い合わせ先】御嶽神社 TEL.0178-84-2435

## 57 熊野神社 (くまのじんじゃ)



寛文6年(1666)5月9日南部藩祖南部三郎光行公が指揮して現地に一社を創建し、甲斐の御館内に祀られる南部家の守本尊を祀った。以来地域の崇敬厚く現在に至っています。

- 祭神 伊弉册命(いざなみのみこと)
- 年間行事 例大祭(9月12日)



〒039-0614 三戸郡南部町虎渡字上山68-2  
【問い合わせ先】TEL.0178-84-4540(石井)

⑤8 白山神社 (はくさんじんじゃ) 名久井岳のふもとのご社。



名久井岳の頂を間近に仰ぎみる当地においては、山岳への畏敬の念も強くあり、郷土の鎮守として古くより大切に祀られてきたお社です。

- 祭神 伊邪那美尊(いざなみのみこと)
- 年間行事 例祭(9月上旬)



〒039-0502 三戸郡南部町下名久井字白山  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0178-76-3593

⑤9 八坂神社 (やさかじんじゃ) 果樹の里の産土神のお社。



神社の由来を辿れば、武運長久が祈られた武門の守護として鎮座していました。また現代においては、農業が盛んな当地における産土神として広く親しまれています。

- 祭神 須佐之男命(すさのおのみこと)
- 年間行事 例祭(7月15日)



〒039-0502 三戸郡南部町下名久井字鍛冶長根2  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0178-76-3593

⑥0 平神社 (たいらじんじゃ) 馬産地南部の歴史を今に伝える。



土祖神をお祀りする若宮八幡宮と、馬護神をお祀りする蒼前神社が大正4年に合祀され、現在の場所に遷座しました。狛犬に加え、二対の神馬像が参拝者をお出迎えます。

- 祭神 土祖神(つちのおやのかみ)  
保食大神(うけもちのおおかみ)
- 年間行事 例祭(8月19日)



〒039-0503 三戸郡南部町平字若宮前1  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0178-76-3593

⑥1 熊野神社 (くまのじんじゃ)



秋の例祭には豊年神楽舞、中学生児童女子の舞、湯立の神事が行われ村民の信奉を受けている。

- 祭神 伊弉册命(いざなみのみこと)
- 年間行事 例大祭(9月13日)



〒039-0106 三戸郡南部町相内字沢構14-1  
【問い合わせ先】 TEL.0178-84-4540(石井)

⑥2 玉掛神社 (たまかけじんじや) 地域開発の祖神として古来より鎮座。



村の開発祖神として古来より篤く崇敬されています。えんぶりや神楽等郷土芸能の盛んな地域で、秋のお祭りには氏子による芸能会が開かれ、唄や踊りが神さまに奉納されます。

- 祭神 伊邪那岐大神(いざなぎのおおかみ)  
外 二柱
- 年間行事 例祭(9月1日)



〒039-0101 三戸郡南部町玉掛字前田44  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0179-34-2536

⑥3 十二神社 (じゅうにじんじや)



長谷山上にあった月山、天神、薬師の三社を天延元年(973)に本村字上平に遷座。さらに寛政9年(1797)4月に現在地に遷座されました。南部家利直公の令室が眼病で当社に祈願し、以後祭典毎に御初穂を奉献したと伝えられます。

- 祭神 天照大神(あまてらすおおかみ)  
外 十一柱
- 年間行事 例祭(9月8日)



〒039-0102 三戸郡南部町赤石字待場37  
【問い合わせ先】 TEL.0179-23-3961(山崎)

⑥4 新羅神社 (しんらじんじや) 手作りやぐらの上でナニヤダラの太鼓の音が鳴り響く。



建久3年(1192)8月、南部藩主光行公が甲州(山梨県)から入国に際し、新封土開発、藩内守護神として創建。以来南部藩主代々の尊信を受け、奇進された太鼓が当時を物語っています。

- 祭神 新羅三郎義光命  
(しんらさぶろうよしみつのみこと)
- 年間行事 天のり(6月上旬)  
例祭(8月25日)



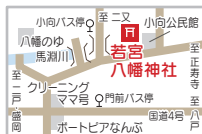
〒039-0105 三戸郡南部町沖田面字早稲田9  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0179-34-2536

⑥5 若宮八幡神社 (わかみややはちまんじんじや) 氏子の手作り、動き出しそうな龍のが縄。



南部二代藩主賞光行により城内守護、藩中安全の祈禱所として創建されたと伝えられ、村の鎮守の神さまと慕われています。

- 祭神 誉田別命(ほんだわけのみこと)
- 年間行事 例祭(9月15日)



〒039-0104 三戸郡南部町小向字村中39  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0179-34-2536

## 66 八幡宮 (はちまんぐう)



南部氏の城館に建つお社です。境内には、南部23代安信の墓(県重宝)があります。

- 祭神 菅田別命(ほんだわけのみこと)
- 年間行事 例祭(9月15日)

〒039-0104 三戸郡南部町小向字八幡27-1  
【問い合わせ先】



## 67 二又稻荷神社 (ふたまたいなりじんじゃ) 果樹栽培の盛んな里、二又の鎮守の神さま。



古来より正一位稲荷大明神、二又村の産土神として崇拝されてきました。昭和21年5月25日神社設立の際、稲荷神社と改称。地域のいなりさまと親しまれています。

- 祭神 倉稻魂命(うがのみたまのみこと)
- 年間行事 祈年祭(4月3日)  
例祭(9月13日)  
新嘗祭(12月3日)

〒039-0104 三戸郡南部町小向字二又101  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0179-34-2536



## 68 荒神社 (あらじんじゃ) 山頂に建つ荒神様のお宮。



集落を守護し、また各戸の竈(かまど)の神様である夫婦神を、眺望に優れた山頂にお祀りする神社です。地域の人々の崇敬の念篤く、厳粛な雰囲気をも今に伝えています。

- 祭神 奥津彦大神(おくつひこのおおかみ)  
奥津姫大神(おくつひめのおおかみ)
- 年間行事 例祭(9月上旬)

〒039-0505 三戸郡南部町鳥谷字鳥谷22  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0178-76-3593



## 69 八幡宮 (はちまんぐう) 地域の人々に愛され鎮守の森に佇む。



古くから集落の人々の崇敬を受け、地域の氏神様としてその暮らしを見守り続けてきました。閑静な小高い森を神域に佇む神さびたお社です。



- 祭神 菅田別命(ほんだわけのみこと)
- 年間行事 例祭(8月25日)

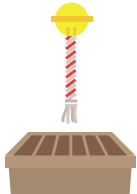
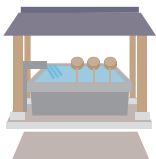

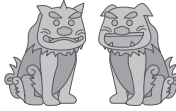
〒039-0504 三戸郡南部町鳥舌内字館21  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0178-76-3593



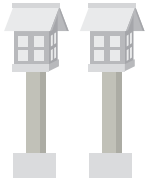







# 神社まめ知識



<p>しゃでん <b>社殿</b></p> <p>神さまがいらっしゃるところ</p> 	<p>えまか <b>絵馬掛け</b></p> <p>絵馬を奉納するところ</p> 
--	--

<p>すず さいせんぼこ <b>鈴・賽銭箱</b></p> <p>お参りするところ</p> 	<p>てみずや <b>手水舎</b></p> <p>心身を清めるところ</p> 	<p>か <b>みくじ掛け</b></p> <p>おみくじを結ぶところ</p> 	<p>ごまいぬ <b>狛犬</b></p> <p>神社を守るもの</p> 
---	---	---	--

<p>じゅよしよ <b>授与所</b></p> <p>お神札やお守りを受けるところ</p> 	<p>こっきけいようとう <b>国旗掲揚塔</b></p> <p>国旗を掲げるところ</p> 	<p>とうろう <b>燈籠</b></p> <p>明かりを灯すもの</p> 	<p>かくらでん <b>神楽殿</b></p> <p>歌や踊りを神さまにささげるところ</p> 
---	---	--	--

<p>ごしんぼく <b>御神木</b></p> <p>神社の大切な木</p> 	<p>とりい <b>鳥居</b></p> <p>神社の入り口</p> 	<p>みごし <b>お神輿</b></p> <p>神さまの乗り物</p> 	<p>しゃこうひょう <b>社号標</b></p> <p>神社の名前を記した もの</p> 
---	--	--	---

# 三戸町・田子町マップ



十和田湖

十和田市

新郷村

73 八坂神社 ▶ P.43

82 三嶽神社 ▶ P.46

田子町

秋田県

鹿角市

86 諏訪神社 ▶ P.47

87 石亀神社 ▶ P.47

88 神明宮 ▶ P.47



● 本務社 神職が普段常駐している神社。

○ 兼務社 他に本務社を持った神職が兼任している神社。

70 糠部神社 ▶ P.42

71 三戸大神宮 ▶ P.42

72 熊野神社 ▶ P.43

75 熊野神社 ▶ P.44

74 馬暦神社 ▶ P.44

76 法呂神社 ▶ P.44

77 白滝神社 ▶ P.44

78 月山神社 ▶ P.45

79 八剣金毘羅神社 ▶ P.45

80 八幡宮 ▶ P.45

81 三嶽神社 ▶ P.45

83 稲荷神社 ▶ P.46

84 真清田神社 ▶ P.46

85 相米稲荷神社 ▶ P.46

至八戸・青森・函館

至八戸

至盛岡

至盛岡・東京

-FIC-

東北新幹線

岩手県  
二戸市

青い森鉄道

南部町

三戸町

剣吉

調話ノ平

自時

金田一温泉

454

233

218

227

143

143

217

104

182

32

395

FIC

## 70 糠部神社 (ぬかべじんじや)

三戸町の歴史文化・観光の中心地。



寛永10年(1633)まで南部氏宗家の居城であった三戸城の跡地に鎮座し、南部藩の藩祖をお祀りしており、学問武芸・家内安全の神様として親しまれています。一帯は県立城山公園に指定され、春の桜花・秋の紅葉など四季折々の風景が楽しめます。又、境内には樹齢八百年余の御神木・松に山桜の枝の生えている松生桜など古木や希少な樹木が生い茂っています。

- 祭神  
南部三郎源光行命  
(なんぶさぶろうみなもとのみつゆきのみこと)  
宇賀御玉命(うがのみたまのみこと)
- 年間行事 山間神事(4月8日前後)  
祈年祭(5月1日)  
例祭(8月21日)  
新嘗祭(10月23日)  
歳越祭(12月28日)



〒039-0112 三戸郡三戸町梅内字城ノ下34-2 TEL.0179-22-1527

## 71 三戸大神宮 (さんのへだじんぐう)

ついたち参りの信仰集める開運招福の宮。



開運招福の神として広く信仰を集める当社は、三戸町の中央高台に鎮座します。木々に囲まれた神明造りの社殿は清楚な雰囲気につつまれ心安らぐものがあります。社伝によると、文禄元年(1592)伊勢神宮の御分霊をお祀りしたのがはじめとされています。「三戸のしんめいさま」とあまねく親しまれ、毎月のおついたち参りには多くの参拝者で賑わいます。

- 祭神  
天照皇大神(あまてらすすめおおかみ)
- 年間行事  
夏越大祓式・茅の輪神事(6月30日)  
神輿渡御祭・三戸秋まつり  
(9月13日~15日)  
おついたち参り(毎月1日)



〒039-0134 三戸郡三戸町同心町字諏訪内46 TEL.0179-22-2501

## 72 熊野神社(くまのじんじゃ)

疫病退散の神さま。



御祭神鎮座の由来は詳らかではないが、昔この地方に疫病が流行し、多くの死者が出た際に熊野山正智院権大僧都が「汝の部下の人民を救うべし」との霊示を受け、祠を熊原川岸边に祀ったところ疫病が鎮静し、南部藩主も深く崇敬するに至ったといわれています。

明治の神仏分離令に基づき明治五年に熊野神社となりました。

- 祭神  
伊邪那美命(いざなみのみこと)
- 年間行事  
例祭(旧7月16日)



〒039-0112 三戸郡三戸町同心町字上川原79 TEL.0179-23-3961

## 73 八坂神社(やさかじんじゃ)

田子町の病魔退散の守護神。



藩政以前から八坂神社の前身「牛頭天王社」(略称天王社)は、病魔退散の守護神として田子町の人々の信仰を集めてきました。明治に入り天王社は八坂神社と改められ、境内には他に子安大明神、蒼前神社、豊受神社、吉祥天、熊野大権現がお祀りされています。また南部藩の御用神楽と伝えられている田子神楽は、県の無形民俗文化財に指定され、勇壮な舞に心とまされます。

- 祭神  
須佐奈命(すさのおのみこと)
- 年間行事  
節分祭(2月3日)  
熊野大権現春祈禱(2月27日)  
火伏の春祈禱(3月27日)  
例大祭(旧6月15日)  
夏の御輿渡御(8月16日)  
月次祭(毎月15日)



〒039-0201 三戸郡田子町田子字上ノ平3 【問い合わせ先】諏訪神社 TEL.0179-34-2536

74 馬暦神社 (ばれきじんじや) 将軍吉宗から下賜されたベルシャ馬を祀る県史跡。



八代将軍吉宗から盛岡藩にベルシャ馬が下賜されました。9歳で死に墓印として三葉松を植えたところ、故郷の西に向かって繁茂しました。後に碑を建て馬頭観音として祀りました。

- 祭神 保食命(うけもちのみこと)
- 年間行事 例祭(7月10日)



〒039-0141 三戸郡三戸町川守田字下比良19  
【問い合わせ先】三戸大神宮 TEL.0179-22-2501

75 熊野神社 (くまのじんじや)



享保年間の勧請といわれ、後に川守田入道が此の地を領した際にこの熊野神社を祈願所としたといわれている。入道の子孫川守田弥五兵衛は時の南部家より社領下附の覺書を賜っている。

- 祭神 伊弉那美命(いざなのみこと)  
速須佐之男命(はやすさのおのみこと)
- 年間行事 例祭(旧6月15日)



〒039-0141 三戸郡三戸町川守田字東張渡56  
【問い合わせ先】TEL.0179-23-3961(山崎)

76 法呂神社 (ほうろじんじや)



元法呂大権現と敬称され、久慈町の氏神として現在も崇敬が篤いお社です。境内も年毎に整備されています。

- 祭神 倉稻魂命(うがのみたまのみこと)
- 年間行事 例祭(8月19日)



〒039-0142 三戸郡三戸町久慈町字中屋敷11-1  
【問い合わせ先】三戸大神宮 TEL.0179-22-2501

77 白滝神社 (しらたきじんじや)



水の神を祭る神社で、傍に湧き出る池がある。泉の湧き出る池をアイヌ語でメムといい、そこから流れ出る小さな川をナイという。このメム、ナイは梅内の語源であるとの説もあり、地域の水田の神として信仰されている。

- 祭神 水波能売命(みずはめのみこと)
- 年間行事 例祭(8月27日)



〒039-0112 三戸郡三戸町梅内字前田52-2  
【問い合わせ先】TEL.0179-22-2093(藤原)

## 78 月山神社 (がつさんじんじや)



数え年7歳の男の子が、白装束を着て父親と一緒に月山神社奥宮を目指します。男の子が一人前になるための人生儀礼を伝えるものとして貴重な神事です。

- 祭神 月読命(つくよみのみこと)
- 年間行事 例祭・泉山7歳児初参り(7月25日)



【里宮】〒039-0111 三戸郡三戸町泉山字船場ノ上38

【奥宮】〒039-0111 三戸郡三戸町泉山字矢吹沢77-1

【問い合わせ先】三戸大神宮 TEL.0179-22-2501

## 79 八剣金毘羅神社 (やつぎこんびらじんじや)



元和7年(1621)3月26日、南部利直公が新たに社を造営し、自ら神前に舞楽を奏し、国家安全、武運長久を祈ったと伝えられる。

- 祭神 広国押武金日命 (ひろくにおしたけかなひのみこと) 大物主命 (おおものぬしのみこと)
- 年間行事 例祭(4月10日)



〒039-0112 三戸郡三戸町梅内字館87

【問い合わせ先】TEL.0179-22-2093(藤原)

## 80 八幡宮 (はちまんぐう)



八幡太郎義家公が、この地に仮宿した時御神体を祀り、当村の産土神になったと伝えられている。嘉永年間に現在地に社殿を建立し、京都より御尊体金の立像を勧請し、御祭神「誉田別命」をお祀りした。

- 祭神 誉田別命(ほんだわけのみこと)
- 年間行事 例祭(旧8月15日)



〒039-0113 三戸郡三戸町目時字村中14

【問い合わせ先】TEL.0179-23-3961(山崎)

## 81 三嶽神社 (みたけじんじや)



古くは三嶽山蔵王大権現と称され、寛永3年(1626)南部利直公の代から多数の奉納物が寄せられました。

- 祭神 広国押武金日命 (ひろくにおしたけかなひのみこと)
- 年間行事 例祭(4月3日)



〒039-0121 三戸郡三戸町豊川字下村中69-1

【問い合わせ先】三戸大神宮 TEL.0179-22-2501



## ⑧2 三嶽神社 (みたけじんじや)



大同2年(807)、坂上田村麻呂により創建されたと伝わります。南部家29代重信が再建、神仏混淆時代には多くの修験者の霊地として繁栄を極めました。

- 祭神 広国押武金日命  
(ひろくに おしたけかなひのみこと)
- 年間行事 例祭(旧8月3日)



〒039-0453 三戸郡三戸町貝守字林ノ後60  
【問い合わせ先】三戸大神宮 TEL.0179-22-2501

## ⑧3 稲荷神社 (いなりじんじや)



創建は明らかではありませんが、所蔵されている棟札には明和4年(1767)の記載があります。本殿は県指定文化財です。

- 祭神 宇迦之御魂命(うかのみたまのみこと)  
天手力男命(あめのたちからおのみこと)
- 年間行事 例祭(9月3日)



〒039-0122 三戸郡三戸町斗内字田屋ノ下58  
【問い合わせ先】三戸大神宮 TEL.0179-22-2501

## ⑧4 真清田神社 (ますみだじんじや) 宝物は坂上田村麻呂より寄進された十一面観音像。



創建は大同2年(807)3月17日と伝えられていますが、火災で古来の文書は焼失しています。坂上田村麻呂将軍の寄進とされる十一面観音像が当社の宝物として安置されています。

- 祭神 高照姫之命(たかてるひめのみこと)
- 年間行事 例祭日(旧3月17日)



〒039-0201 三戸郡田子町田子字堂ノ東20  
【問い合わせ先】諏訪神社 TEL.0179-34-2536

## ⑧5 相米稲荷神社 (そうまいいなりじんじや) 川のせせらぎと朱色の橋が心ませてくれる。



大国主命を御祭神としている当社の創建は不詳です。昭和2年村社に列格され、村の人々の心のよりどころとなっています。

- 祭神 大国主命(おおくにぬしのみこと)
- 年間行事 祈年祭(4月3日)  
例祭(9月3日)  
新嘗祭(12月3日)



〒039-0202 三戸郡田子町相米字相米2  
【問い合わせ先】諏訪神社 TEL.0179-34-2536

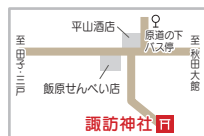


## 86 諏訪神社 (すわじんじや) 原五百石の鎮守の神さま。



慶長(1596~1615)の頃、盛岡藩主により原五百石の地を領有した工藤氏が、産土神、武神、鎮守の神として創建。その後、原五百石の氏子崇敬者の鎮守の神さまとして篤く信仰されています。

- 祭神 武御名方命(たけみなかたのみこと)
- 年間行事 例祭日(旧8月27日)



〒039-0311 三戸郡田子町原字原63  
【問い合わせ先】 諏訪神社 TEL.0179-34-2536

## 87 石亀神社 (いしがめじんじや)



慶長9年(1604)に、南部家によって建立されたと伝えられています。地域住民の精神的支柱として大切に守られています。

- 祭神 少彦名命(すくなひこなのみこと)
- 年間行事 例祭(旧8月8日)



〒039-0312 三戸郡田子町石亀字上三平11  
【問い合わせ先】 三戸大神宮 TEL.0179-22-2501

## 88 神明宮 (しんめいぐう)



慶長9年(1604)南部家御先祖が建立したと伝えられています。地域住民の信仰が篤く、祭礼には伝統芸能が奉納され賑やかです。

- 祭神 天照皇大神 (あまてらすすめおかみ)
- 年間行事 例祭(旧8月15日)



〒039-0316 三戸郡田子町関字関119  
【問い合わせ先】 三戸大神宮 TEL.0179-22-2501

## 神さまやお神札の数え方



お神札やお守り、ご神像などを数える際には「一体、二体…」という「〇〇体(たい)」という助数詞を用います。神社は「〇〇社(しゃ)」、御祭神については「〇〇柱(はしら)」と言います。神霊(しんれい)の宿られる樹木をご神木として神聖視してきたことや木柱をもって神座の位置を定めてきたことなどがこの数え方の理由と考えられます。

# 五戸町・新郷村マップ



● 本務社 神職が普段常駐している神社。

◎ 兼務社 他に本務社を持った神職が兼任している神社。



92 上市川神明宮 ▶ P.51

93 切谷内天満宮 ▶ P.51

94 八幡宮 ▶ P.52

98 高良神社 ▶ P.53

89 稻荷神社 ▶ P.50

95 神明宮 ▶ P.52

96 浅水八幡宮 ▶ P.52

97 少彦名神社 ▶ P.52

## 89 稲荷神社 (いなりじんじゃ)

馬産地で有名な五戸まつりの中心神社。



五戸まつりの神社(三社大祭)と言われ、近郷近在から老若男女御輿渡御。山車行列に拍手。無形文化財の石沢駒躰は、お通りは小中学生児童、お遣りは大人のチームで毎年見事な踊りを披露しておりお祭りの目玉的存在となっています。

### ●祭神

倉稲魂命(うがのみたまのみこと)

### ●年間行事

古礼焼納祭(1月10日)

交通安全祈願祭(1月第3日曜日)

春の例祭(4月29日)

夏越大祓(6月30日)

秋の例大祭(8月末または9月最初の金土日)



〒039-1533 三戸郡五戸町野月2 TEL.0178-84-4540

## 90 新山神社 (しんざんじんじゃ)

見事な彫刻と縁結びのお社。



当社は貞観2年(860)の創建と伝えられています。その後元禄2年(1689)盛岡藩士木村秀晴によってこの地に遷座されました。なお、現在の社殿は昭和6年(1931)に造営されたものです。社殿全体は目を見張るような彫刻でおおわれ、特に向拝両柱の彫刻の精緻さは他に類を見ません。高台の社殿参拝後は、すぐ近くの倉石温泉でゆっくり一休みするのもいいでしょう。

### ●祭神

大国主命(おおくにぬしのみこと)

素戔嗚命(すさのおのみこと)

少名彦命(すくなひこのみこと)

### ●年間行事

例大祭(8月18日・19日)

天満宮、夫婦神社例大祭(9月25日)

勤労感謝祭(11月23日)

年越祭(12月18日)



〒039-1703 三戸郡五戸町倉石又重字前平7 TEL.0178-77-2283(服部)

## ⑨1 三嶽神社 (みたけじんじや)

キリスト伝説、古代ピラミッド、神秘の里の古社。



キリスト伝説などロマンあふれる里に鎮座する古社です。樹齢1,000年を越えると思われる樺をはじめ、数多くの大木がそびえ古色蒼然という言葉があてはまる境内です。8月19日の大祭には鶏舞、権現舞、神楽、ナニヤドヤラ等の興味深い踊りも見られます。下北郡大畑町の開祖にまつわる数々の伝説や、三嶽神社に伝わる神話も多くあります。

●祭神  
宇迦之魂之命(うがのみたまのみこと)

●年間行事  
祈願祭(4月19日)  
大祭(8月19日)  
感謝祭(11月19日)



〒039-1801 三戸郡新郷村戸来字三嶽下15 TEL.0178-78-2008

## ⑨2 上市川神明宮 (かみいちかわしんめいぐう)



四百年程前、お伊勢さまの御分霊をいただき、神明川原に祀る。後天保3年(1832)、水害により流失し、現境内地に奉遷し現在に至る。

●祭神  
天照皇大御神  
(あまてらすすめおおみかみ)  
●年間行事  
例祭(4月11日・8月11日・12月11日)



〒039-1501 三戸郡五戸町上市川字赤川々原79  
【問い合わせ先】TEL.090-2029-0776(白石)

## ⑨3 切谷内天満宮 (きりやないてんまんぐう)



創立享和3年(1801)。上北郡七戸の長兵衛屋敷からここ切谷地に奉祀したのがはじまりです。文政の始め、五戸川の氾濫により、村全滅の危機に瀕している時、金山坊なる旅の僧が、村人の守護を願い、自ら人柱として村を救った。金山坊を讃え、この地を金山川原と呼び、天神様を奉遷し、現在に至っています。

●祭神  
菅原道真命(すがわらのみちざねのみこと)  
●年間行事  
例祭(3月25日・8月25日・11月25日)



〒039-1502 三戸郡五戸町切谷内字金山川原39  
【問い合わせ先】TEL.090-2029-0776(白石)

94 八幡宮 (はちまんぐう) 総懸造りの社殿とそれを飾る彫刻は見事。



社殿は総懸造りで、彫刻は数にして700から800ともいわれている。境内には樹齢300年で直径95cm、高さ7.2m、枝張り6mと見事なイテイが見られ、昭和50年7月1日「町の木」に指定されました。

- 祭神 菅田別命(ほんだわけのみこと)
- 年間行事 十五夜大祭(旧8月15日)



〒039-1569 三戸郡五戸町字根岸10-2  
【問い合わせ先】TEL.0178-84-4540(石井)

95 神明宮 (しんめいぐう)



宝永2年(1705)当地の豪士開拓者、木村興市氏が社殿を建立。正徳5年(1715)五戸町大火の際焼焼。享保3年(1718)氏子からの寄附金により再建されたが、再度明治17年の五戸大火により焼焼し、明治41年再々建立されました。

- 祭神 天照皇大御神 (あまてらすすめおおみかみ)
- 年間行事 例大祭(9月12日)



〒039-1547 三戸郡五戸町神明後27  
【問い合わせ先】TEL.0178-84-4540(石井)

96 浅水八幡宮 (あさみずはちまんぐう) 風光明媚な浅水館趾に建つお社。



かつて南部家とゆかりも深く住時の浅水館の風情が忍ばれます。境内から集落が一望でき、四季折々の彩を映し出します。地域の鎮守の神さまとして広く崇敬されています。

- 祭神 応神天皇(おうじんてんのう)
- 年間行事 例祭(9月15日)



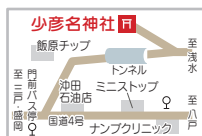
〒039-1561 三戸郡五戸町浅水字浅水70  
【問い合わせ先】諏訪神社 TEL.0179-34-2536

97 少彦名神社 (すくなひこなじんじゃ) 病気平癒・病難退除の守護神、薬師さま(二体の像あり)。



中世の頃、馬淵川を眺望する霊地に動座、その後今の薬師山に遷座されました。「薬師さま」と慕われ例祭日には二体の大きな木像にお札を貼り、病気平癒を祈願しています。

- 祭神 大那牟遲大神(おなむぢのおおかみ) 少彦名大神(すくなひこなのおおかみ)
- 年間行事 例祭日(5月8日)



〒039-1529 三戸郡五戸町手倉橋字薬師沢53  
【問い合わせ先】諏訪神社 TEL.0179-34-2536



## ⑨8 高良神社(こうらじんじや)



大祭(8月23日)には、村内の小中学生による相撲大会が行われます。神社は「ラクスマンの絵馬」が奉納されており、学術的にも非常に貴重なものです。

- 祭神 武内宿禰(たけのうちのすくね)
- 年間行事 例大祭(8月23日)



〒039-1702 三戸郡五戸町倉石中市字田茂平66

【問い合わせ先】TEL.0178-84-4540(石井)

## ⑨9 三嶽神社(みたけじんじや)



本神社は三嶽山蔵王権現と称し、神社設立の際、三嶽神社と改称されました。

- 祭神 倉稻魂命(うがのみたまのみこと)
- 年間行事 例祭(8月16日)



〒039-1802 三戸郡新郷村西越字林ノ前62-2

【問い合わせ先】TEL.0179-22-2093(藤原)

## ⑩0 蒼前神社(そうぜんじんじや)



創建の時期は不明ですが、古来より産土神として信仰されてきました。保食神は稲の豊穰を司り、食物を守護する神様です。

- 祭神 保食神(うけもちのかみ)
- 年間行事 例祭(9月19日)



〒039-1802 三戸郡新郷村西越字中鶴間21-20

【問い合わせ先】三戸大神宮 TEL.0179-22-2501

## 神さまがケンカ？

やおよろずのかみ

八百万神という言葉があるように、日本には数多くの神さまがいらっやいます。幾つかの神社のお神札やお守りに願いを託す人も多いことでしょう。神さま同士ケンカしてしまうのでは？と心配になるかもしれませんが大丈夫です。神さまはそれぞれの御神徳をもって協力して守ってくださいます。

- P 02 まえがき
- P 03 神社と神さま
- P 04 参拝の手順・  
手水の手順
- P 05 神棚のまつり方
- P 06 三八支部全体マップ

### 八戸市沿岸部・階上町

- P 08 マップ
- P 10 小田八幡宮  
御前神社
- P 11 川口神社  
大祐神社
- P 12 三嶋神社  
蕪嶋神社
- P 13 大久保天満宮  
四本松神社
- P 14 潮山神社  
白髭神社  
八坂神社
- P 15 別雷神社  
二子石稻荷神社  
鮫八幡宮  
大祐神社
- P 16 神明宮  
熊野神社  
高岩神社  
巖島神社
- P 17 塩釜神社  
金刀比羅神社  
館神社  
日吉神社

### 八戸市内陸部(南郷を含む)

- P 18 マップ
- P 20 七崎神社  
白山神社
- P 21 櫛引八幡宮  
三八城神社
- P 22 霏神社  
神明宮
- P 23 長者山新羅神社  
新田八幡宮
- P 24 月山神社  
天狗山神社
- P 25 龍興山神社  
月山神社
- P 26 朝日神社  
瀧神社  
火産霊神社  
八幡宮
- P 27 天満宮  
柵形稻荷神社  
八幡宮
- P 28 高山神社  
稻荷神社  
家づくりのまつり
- P 29 人生儀礼

### 南部町

- P 30 マップ
- P 32 御嶽神社  
諏訪神社
- P 33 諏訪神社  
長谷山神社

- P 34 月山神社  
八幡宮  
巖嶋神社  
稻荷神社
- P 35 斗賀神社  
諏訪神社  
稻荷神社  
熊野神社
- P 36 白山神社  
八坂神社  
平神社  
熊野神社
- P 37 玉掛神社  
十二神社  
新羅神社  
若宮八幡神社
- P 38 八幡宮  
二又稻荷神社  
荒神社  
八幡宮
- P 39 神社まめ知識

### 三戸町・田子町

- P 40 マップ
- P 42 糠部神社  
三戸大神宮
- P 43 熊野神社  
八坂神社
- P 44 馬暦神社  
熊野神社  
法呂神社  
白滝神社
- P 45 月山神社

- 八劔金毘羅神社  
八幡宮  
三嶽神社
- P 46 三嶽神社  
稻荷神社  
真清田神社  
相米稻荷神社
- P 47 諏訪神社  
石亀神社  
神明宮  
神社まめ知識

### 五戸町・新郷村

- P 48 マップ
- P 50 稻荷神社  
新山神社
- P 51 三嶽神社  
上市川神明宮  
切谷内天満宮
- P 52 八幡宮  
神明宮  
浅水八幡宮  
少彦名神社
- P 53 高良神社  
三嶽神社  
蒼前神社  
神社まめ知識

#### 【発行・編集】

令和4年4月改訂  
青森県神社庁三八支部

制作 株式会社テクノス

※本書の記載内容の無断転用、複写、  
転載を禁じます。

安産祈願

初宮詣

七五三詣

合格祈願

厄 祓

神前挙式

地鎮祭

上棟祭

車のお祓

海上安全

五穀豊穡

大漁祈願

家内安全

商売繁盛

必勝祈願

年祝い

学業成就

病氣平癒

交通安全

子授祈願

例 祭

新宅祭

良縁祈願

起工式

旅行安全

神輿渡御

新嘗祭

祈年祭

神棚奉斎

出航式

解体清祓

入学祭

春祈禱

無病息災

当選祈願

竣工祭

神葬祭

御礼参り



青森県神社庁  
三八支部

その他の御祈願についてはお問い合わせください